

令和5年度：第8回 西蒲区自治協議会 保健福祉部会 会議概要

◆会議概要

- 名称：西蒲区自治協議会 令和5年度 第8回保健福祉部会
- 日時：令和5年11月30日（木）午後4時～午後5時
- 場所：巻地区公民館 2階 研修室
- 出席委員：栗原委員、岩崎委員、田中委員、本田委員、谷原委員、小林委員、原委員、村山委員、鈴木委員
以上9名（欠席：八百板委員）
- 事務局：健康福祉課長、地域総務課課長補佐、同課主査
- 傍聴者：0名

◆会議内容

令和5年度区自治協議会提案事業について

- ・令和6年2月24日（土）に開催する「信友直子講演会&映画上映会」について、PRチラシや、当日の会場レイアウト、当日の流れについて確認をしました。
- ・また、来場者アンケートについて、アンケート項目を次回部会までに検討することとし、支え合いや助け合いに関する質問項目を検討することとしました。

支え合いの意識醸成事業について

- ・区役所だよりを活用し、支え合いや助け合いに関する自治協議会からのメッセージについて協議をしました。
- ・委員からメッセージアイデア（12種類）が提出され、令和6年1月7日発行の区役所だよりから順次発信していくこととしました。

令和6年度区自治協議会提案事業について

- ・令和6年度開催を予定している「(仮称) にしかん LIFE フェス」について、事業コンセプト、部会としての事業テーマ、ターゲットなどについて協議しました。
- ・協議の結果、次のとおり決定しました。
 - ①事業コンセプト：学びと体験で、つながろう！西蒲区
 - ②部会事業テーマ：支え合い・助け合いの意識などを育て、人と人とのつながりを大切にしよう！
 - ③ターゲット：全世代
- ・また、事業に関する意見交換を行い次とおりの意見がありました。
 - ①大きく開催すると部会としてのテーマが伝わりにくく、目的が薄れてしまうのでは
 - ②本事業は、次に繋げていくのか。意識醸成は、継続的にしないと効果がない
 - ③参加者全員を巻き込むイベントを実施した方がよい
 - ④配置案では、規模が大きくなり、人員が必要。もっと絞り込んだ方がよいのでは
 - ⑤全世代をターゲットにするなら足が無い人のため、会場までのシャトルバスが必要
 - ⑥各ブースを巡るスタンプラリー的なものを実施してはどうか
 - ⑦本事業は、きっかけを作るもの。事業で学んだことを地域で活かしてほしい
 - ⑧楽しいことがないと人が集まらない。学びの中にも楽しさが必要